

平成 25 年 12 月 16 日

東京大学大学院法学政治学研究科教授
樋口範雄

生命倫理上の重要課題として少なくとも次の 7 点がある。これらを調査会ですべて扱うことはできないとしても、日本のどこでどのような議論がなされているかを、総合科学会議またはこの調査会で把握していることは必要ではないかと考える。

- 1) ES 細胞、iPS 細胞からの研究について
- 2) そこから発展して、再生医療全般について
- 3) 遺伝子治療、遺伝子情報の取扱い、さらにそれによる差別問題
- 4) 人工生殖および新生児治療の問題
- 5) 終末期医療・介護の問題
ここには認知症など高齢期に特に多い病態の問題が含まれます。
- 6) 日本だけではない、新型感染症の予防と発生時対応の問題
- 7) 臨床試験のあり方の問題
ここでも海外での治験との比較検討が必要です。